

パネルディスカッション

探究の軌跡を可視化する

—— デジタル・ポートフォリオの可能性 ——

AICANチームBでは、総合的な学習（探究）の時間等における利用を想定したデジタル・ポートフォリオの開発を進めています。このデジタル・ポートフォリオの基本的なコンセプトは「生徒が自らの学びのストーリーを紡ぐ」ことです。ポートフォリオは、本来、学習成果に関するログを単に残すデータベースではなく、「学習履歴をまとめた本」や「学びのアルバム」となるべきものです。私たちは、生徒が各種の成果資料を編集してポートフォリオを作成する過程で、自らの学び（探究）のストーリーを紡ぎ、それについて他者（教師や友人）と対話したり、自身の探究の履歴を振り返ったりすることができるデジタル・ポートフォリオを開発しています。

本パネルディスカッションでは、デジタル・ポートフォリオを用いて実際に探究をすすめてきた4校から代表生徒にデジタル・ポートフォリオを用いて発表を行っていただき、その上でデジタル・ポートフォリオの意義と課題について、生徒本人から赤裸々に語っていただきます。こうした議論をもとに、デジタル・ポートフォリオを用いることで生徒の探究の軌跡をいかに可視化することができ、また探究のカリキュラムをどのように再構築できるのか探索していきます。

2026
3/22/ SUN
14:00-16:00
(受付13:30-)

会場：京都大学北部構内
北部総合教育研究棟1階 益川ホール
対象：学校の先生方、教育委員会の関係者、
教員志望の学生 80名程度

参加費
無料

14:00-14:10 あいさつ 松下佳代（京都大学 教授）
企画趣旨 石田智敬（愛知県立芸術大学 准教授）
14:10-14:20 実証校の概要説明
久富望（花園大学 講師）・田中孝平（北海道大学 助教）

14:20-15:10 実証校生徒からの報告（各10分程度）

高槻高等学校 ①	2年生	村田博亮・辰巳陽紀・福澤周拓
高槻高等学校 ②	2年生	北尾和佳・大木奏乃・深田彩加
北海道札幌啓成高等学校	1年生	金野有希
秋田県立横手城南高等学校	2年生	村田栞渚
秋田県立湯沢高等学校	2年生	阿部寧々花

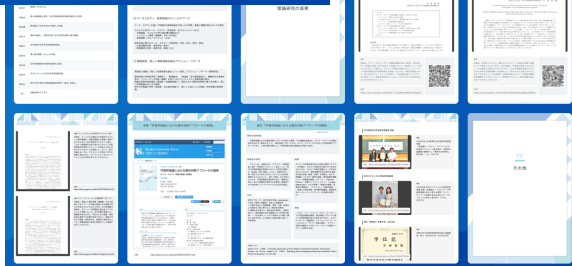
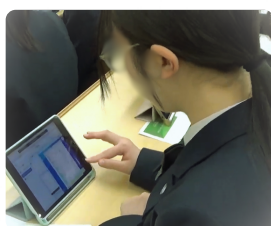
※下線を引いた生徒が代表発表者です。

〈休憩10分〉

15:20-15:55 ディスカッション
指定討論：石井英真（京都大学 准教授）

15:55-16:00 まとめ

※本パネルディスカッションは内閣府によるSiP（戦略的イノベーション創造プログラム）の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」における研究開発テーマ「真正で探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」（研究開発責任者：松下佳代）の一環として実施いたします。



アクセス



受付会場

北部総合教育研究棟（1階）
益川ホール
（リンク先地図 建物番号13）▶



お申込み

下記のQRコードよりお申込みください。

申込締切：3月9日（月）

※なお、同日午前より開催している第21回実践交流会にお申込みされているE.FORUM教員会員の方は、本パネルディスカッションへのお申込みは不要です（実践交流会のプログラムの中に本パネルディスカッションを含んでいます）。



お問合せ

京都大学大学院教育学研究科E.FORUM事務局 e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp